

Event Report

第14回 IPA 圧入工学セミナー in 金沢 2024

2024年10月9日、石川県金沢市にて「第14回 IPA 圧入工学セミナー in 金沢 2024 ～能登半島地震からの復興・災害対策」を開催し、政策立案者、研究者、技術者、施工業者、学生など、国内外から現地・オンライン合わせて約120名の方にご参加いただきました。2024年1月に発生した能登半島地震をテーマとして、被災地の復旧・復興に携わる6名の研究者、実務者の方々を講師としてお招きしました。始めに、日下部専務理事より GNS (自然災害に対する安全性指標) が行政の適切な防災施策の計画・実施に寄与し得るとの紹介があり、セミナーが開会しました。プログラムは下記のとおりです。

開会の挨拶	日下部 治 氏	国際圧入学会 専務理事 東京工業大学 名誉教授
講演 1	内灘町における液状化による側方流動 ハザリカ ヘマンタ 氏	一事例と要因分析— 九州大学大学院 工学研究院 教授
講演 2	港湾工事における圧入工法の施工実績 高力 秀幸 氏	東洋建設株式会社 関東支店 技術営業部
講演 3	地震・豪雨に対する鋼矢板を用いた河川堤防強化技術について 乙志 和孝 氏	一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会 河川堤防小委員会 委員長
講演 4	能登半島地震における道路盛土の対策について ～のと里山海道能登大橋付近の被災と復旧の一例～ 神戸 隆幸 氏	鹿島建設株式会社 北陸支店 土木工事管理部長
講演 5	橋梁基礎の補強・復旧技術 西岡 英俊 氏	中央大学 理工学部 教授
講演 6	圧入工法による能登半島の復興支援について 西本 和真 氏	株式会社技研製作所
閉会の挨拶	松本 樹典 氏	国際圧入学会 理事 金沢大学 名誉教授

閉会の挨拶として松本理事より、事前の災害対策に加えて災害が発生した際の早急な復旧方法をあらかじめ検討しておくことも重要であるとの提言がありました。今回のセミナーが、被災地の早期復旧・復興、さらには将来的な災害対策の一助となれば幸いです。セミナーの講演資料（日本語）は IPA ウェブサイトに掲載しておりますので是非ご覧ください。

セミナーの講演資料はこちらから <https://www.press-in.org/ja/page/kanazawa>

